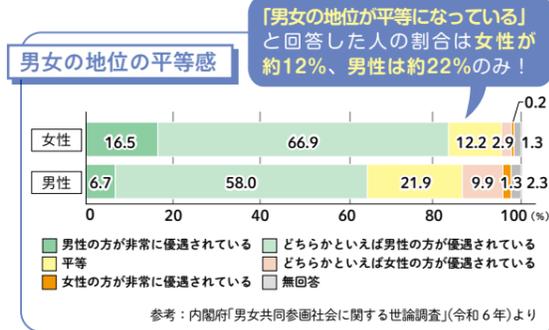


Gender Equality 男女共同参画 について



鈴木：私は「女性だから対応が柔らかい」という理由で、コールセンター部署に配属されました。ですが、性別に基づくと固定観念で配属先が選ばれるのはおかしいとずっと思っていました。

山川：学生時代に所属していた吹奏楽部は、部員1000人のうち男性は10人程でした。楽器の運び役は男性が担当し、女性はクーラーの効いた部屋で楽器を磨いて過ごすという光景が日常でした。

奥西：両親からは「女の子だから自宅から通える場所に就職しなさい」と言われ、結婚後は周りから「女性は家庭を守るべき」と言われるような時代でした。令和7年10月に日本初の女性内閣総理大臣が誕生しましたが、優秀ならば男女関係なく積極的に社会に出てほしいです。

下嶋：これだけ時代は変わっても、いざ結婚すると「私が家事をやらない」と感じている女性は少なくないと思います。特に、働き盛り期と妊娠・出産期が重なってしまったり、どうしても家庭に比重がかかってしまい、やりたい仕事を諦めざるを得ないことも。性別関係なく誰もが自分らしく過ごしていける

Views on Marriage 結婚観について

浅井：私の世代は、結婚に対して願望や拒否という概念はなく、皆結婚していました。私は、テニス仲間であった妻と結婚しましたが、世間全体の3分の1くらいはお見合い婚でした。

奥西：私は幼い頃から結婚願望があり、29歳で職場の同僚と結婚しました。ほとんどの家事や育児・介護を私が担ってきたので、夫は今も一人では十分に家事ができないのですが、息子は率先して、家事を手伝ってくれます。

下嶋：30歳の時、友達の紹介で出会い、実際1年で結婚しました。私は自宅でも仕事をしているので、主に家事や子どもの送迎などを担当していますが、苦手な分野は夫に任せるといった役割分担をしています。

安藤：それなりに結婚願望はあったので、28歳の時に友人の紹介で出会い、結婚しました。家庭で明確な役割分担はしていませんが、子ども2人をお風呂に入れるなどしています。長男誕生時は、仕事がとても忙しく、育児休業を取らなかつたことをずっと後悔していました。次男誕生時は、3週間程育児休業を取得しました。子どもとの貴重な時間を過ごせたことに、子育ての大変さも感じるようになりました。

杉山：今のところ結婚願望はなく、自分の時間を優先したいです。もし結婚するならば、お互い不公平にならないように家事を当番制にしたいな。

山川：今は仕事に集中したいので、30代前後で結婚が理想かな。最近、アプリでの出会いも多いと聞きます。共働きの両親は役割分担はせず、気がついた方が家事をしている印象です。自分が親になったら、育児休業も積極的に取りたいです。

鈴木：良い出会いがあれば結婚したいけれど、特になければなくてもいいかな。もし結婚するなら、夫婦でしっかりルールを決めたいな。

Z世代



今は自分の時間を優先したい！

杉山 雅さん



学生時代から「男女の役割差」があったように思います。

Z世代

山川 敏弘さん

仕事も家庭も両立できる社会になると良いな。



下嶋 ひろみさん

氷河期世代

学生のコメント
昔に比べて社会のあり方も大きく変化してきていますが、身近な場面では、まだまだ性別役割分担意識が残っているということを実感しました！



土屋 紗羅さん

昭和・平成・令和 世代を超えた 座談会

仕事と家庭、どちらも大事にしたい。



安藤 慎さん

ミレニアル世代

山川：現在は、「ワークワークワーク」でバリバリ働いています。残業後に上司と飲みに行くこともありますし、同期とは土日や長期休暇を利用して旅行することもあります。

鈴木：コロナ禍以降、在宅勤務ができるようになりまし。また、職場の福利厚生を利用して、歴史サークルに所属し活動しています。

奥西：私は、育児と介護を担うために一度仕事を辞めましたが、後悔はありません。昔は社員旅行やソフトボール大会など色々なイベントがあり、楽しかったです。

下嶋：組織で働くというよりも「自分が何かをやっていたい」という思いが強かったので、個人事業主になりました。コロナ禍

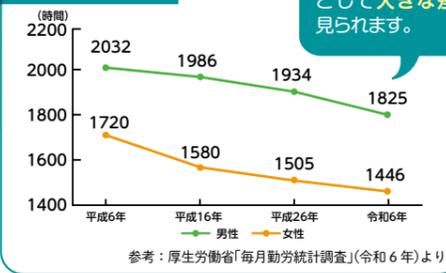


浅井 透さん

世の中の1/3はお見合い婚でした。

団塊世代

男女ともに総実労働時間は減少傾向にありますが、依然として大きな差が見られます。



日高 満歩さん

学生のコメント
私は20歳ですが、結婚願望を幼い頃から持っています。世代が近くても考え方は一人ひとり異なるんだなと思いました！

Work Style 働き方について

リモートワークや福利厚生を活用しています！



鈴木 杏さん

Z世代

学生のコメント
世代によって抱えている状況や悩みは様々ですが、「自分らしく働きたい」という思いは、共通していることがわかりました！



山本 怜奈さん

育児と介護のため、一度退職しました。



奥西 和美さん

バブル世代

浅井：私が働いていた当時は、社会全体に育児休業という選択肢がなかったです。子ども数日付与されていましたが、結局使わなかったです。

安藤：仕事も大切ですが、子どもの行事にも積極的に参加したいので、仕事と家庭はしっかりと分けたいですね。私の世代は子育て真っ只中の人が多いので、職場での頻繁な交流はそれほどないです。

山川：私は自分でスケジュール管理をすることが苦手なので、会社社務が合っているなと思います。仕事柄、在宅勤務は難しいですが、仲の良い同僚とランチへ行ったり、業務後に飲みに行ったりもしますよ。

奥西：前年から、全国の方とオンライン上で繋がっているのが、現在も多様な職種の方と交流しています。今の働き方は理想的で、スケジュール管理も自分ででき、何より定年がないことも魅力的です。

座談会を終えての感想

山川：世代はバラバラですが、同じような意見があれば全く違う価値観もあることが再確認でき、良い機会となりました。

山川：恋愛や結婚について、友達以外とは話をしたことがなかったので、様々な世代の方が多様な考えを持っているということが分かり、とても勉強になりました。

鈴木：貴重な時間をありがとうございました。自分の人生を見つめ直すきっかけになったと思います。

安藤：先輩方や後輩達と交流ができて良かったです。私の場合、20代の時に熱中したことが明確に思い浮かばなかったので、是非皆さんにはいくつになっても何か熱中できるものを見つけてほしいなと思います。

下嶋：様々なテーマについて意見交換をしましたが、どの世代も感じ方や捉え方が違い、面白かったです。

奥西：少し緊張していたのですが、いろいろな話が聞けて楽しかったです。

浅井：最年長の私から皆さんへ、とにかくどんなことに対しても諦めず是非トライしてほしいです。失敗して「これだめだな」と感じて、また何度でもやり直せますから！

土屋：色々な意見や価値観を聞くことができ楽しかったです。

山本：座談会を通して、自分自身の視野を広げることができました。

日高：多様な生き方があることを実感することができました。来年度から社会人となるので、自分らしくイキイキと過ごしていきたいです。

川上 新二 教授からの総評



人は、時代ごとに大枠として特徴づけられる考え方や行動様式の中で生きています。そのため、思考や行動様式に世代間での違いが見られるのかもしれませんが、その一方で、大枠の中で生きながらも、いつの時代にも人はそれぞれ、如何に良く生きていくかについて、考えてきたと思います。今回の座談会のように、各世代の男女が互いの経験や考えを語り合うことは、すべての世代の人にとって、今後どのようにより良く生きていくかを考え、それを互いに認め合う機会になるでしょう。そして、一人ひとりが生き方について考えを深めていくことで、現在およびこれからの未来の世代における思考や行動の様式の大枠を作っていくことができると思います。